

しずおか 県民児協だより

[題字：第54代静岡県知事 石川嘉延 書]

28

第28号

平成26年9月1日発行

編集発行／静岡県民生委員児童委員協議会 〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県社会福祉協議会内 ☎054-254-5224 ☎054-251-7508

御前崎市民生委員児童委員協議会の活動



御前崎市は五月末の人口が三万四千百九十五人、世帯数は一万一千八百三軒からなる街です。民生委員児童委員の組織は、御前崎市民生委員児童委員協議会を中心に御前崎地区（四部会・四支部会・委員二十二二人）と浜岡地区（四部会・七支部会・委員四十一人）で構成されております。

本年度の当協議会の主な活動を二つほどご紹介させていただきます。

一つ目ですが、当市は近い将来の発生が危惧される南海トラフ大地震の被害想定も甚大であり、加えて原子力発電所が立地していることから災害時の対応について、行政や自主防災組織と協力し減災に取り組んでいます。その主たるものは「災害時、一人も見逃さない運動」として要援護者や一般市民の避難支援、救助救出、安否確認とけが人の手当てや搬送を迅速に行うことを目的とした活動（自主防災世帯台帳の作成・要援護者名簿の作成・要援護者マップの作成・要援護者個別票の作成・人材台帳の作成等）を行い災害時に自主防災組織で活用できるよう備えています。この活動は今年で三年目となり、地域住民にも浸透し手応えを感じています。

二つ目ですが、当協議会も昨年の一斉改選後、ほぼ半数の委員が新任であることから、各委員が民生委員法や個人情報保護法等の関連法律の知識、技法等を身に付けることを目的に、「必携第五十七集」「活動の手引き」を基に年五回のスキルアップ研修を実施し、委員の資質向上に努めて行きたいと思っています。

支援を必要とする高齢者や障がいのある人を、地域で見守り助け合い、住み慣れた所で元気に安心して暮らせるよう微力ではありますが地道に活動をして行きたいと思っています。

平成26年度静岡県民生委員

児童委員協議会総会あいさつ

会長 越川 年

日時 平成26年6月3日(火)

場所 静岡労政会館 大ホール

皆様、こんにちは

県下各地区から御参集の単位
民児協の会長様には本総会に御
出席、大変御苦勞様でございま
す。皆様の日頃の地域における
熱心な福祉活動や民児協運営に
ついての御勞苦に對しまして心
より敬意と感謝を申し上げま
す。

また、副知事 大須賀 淑郎 様
をはじめ多数の御來賓の皆さま
には公務御多忙の中、私たちの
総会に御臨席賜り、民生委員児
童委員活動を御理解いただき、
私たちを激励していただくこと
も、日頃から温かい御支援を
いただいていることに對しまし
て、高い席から恐縮に存じまし
が、衷心より厚く御礼申し上げ

ます。

さて、三年後の平成二十九年
には民生委員制度の前身である
済世顧問制度発足百周年を迎え
ます。この制度を始めた笠井信
一氏は皆様も御存じのとおり富
士市出身であり、静岡県知事も
務められました。この間、かつ
ての方面委員や民生委員・児童
委員は地域福祉の向上などに重
要な役割を果たしてまいりまし
た。本会におきましても百周年
に向けて記念誌の発行等、何ら
かの記念事業を行いたいと考え
ているところです。

また、今年は主任児童委員制
度が発足してから二十年の節目
の年でもございます。先日の中
民児連の会議で、残念なことに

未だに主任児童委員についての
理解が不足しているとの発言
が、ある県の委員からありまし
た。皆さまも主任児童委員の皆
さんが力を十分に發揮できるよ
う御配慮いただくと共に、民生
委員全員が児童委員を兼ねてい
ることも再確認いただき、民児

協運営の中で
その事を委員
の皆さまに徹
底するよう心
がけていただ
きたいと思ひ
ます。

ところで、
昨年六月に現
顧問の天野隆
玄前会長が全
民児連会長の
立場で、「生
活困窮者自立
支援法」の審
議過程におい
て、参議院の
厚生労働委員
会で意見陳述
を行いました

た。その中で天野前会長は、大
臣委嘱に基づく民生委員・児童
委員制度およびその活動の概要
を紹介し、活動の範囲がきわめ
て広範にわたっていること、ま
た近年、世帯が抱える課題が複
雑・多様化していること等を指
摘しました。



天野前会長の意見陳述の後、各党の委員から質疑がなされましたが、そのなかでは、共通して全国の民生委員・児童委員の活動に対する感謝の言葉が寄せられました。その結果、「生活困窮者の自立支援に当たっては、常に住民の立場に立って相談・支援活動を行ってきた民生委員・児童委員が最大限その役割を発揮できるように、必要な



る支援や情報提供、さらに委員の負担軽減などの必要性が盛られており、今後の私たちの活動に期待が持てる内容となっています。全民児連のホームページからご覧いただけますので是非、御一読いただきたいと思います。

皆様方には、本年も「広げよう地域に根ざした思いやり」のスローガンのもと全国二十三万

情報の提供や、研修の実施、関係機関との効率的な連携等、民生委員・児童委員が活動しやすい環境整備を更に進めること。」との附帯決議がなされました。そして、厚生労働省はこのことに関する検討会を持ち、この四月に、報告書が出たところであります。その中身は私たちが日頃求めてきた行政のさらなる支援や情報提供、さらに委員の負担軽減などの必要性が盛られており、今後の私たちの活動に期待が持てる内容となっています。全民児連のホームページからご覧いただけますので是非、御一読いただきたいと思います。

人の仲間と共に、支援を必要としている人々に手を差し伸べ、要支援者が孤立状態から脱却し、周囲に相談できるようになるよう地道な活動を進めるためのリーダーシップを発揮していただきたいと思います。

一斉改選により、新しく委嘱された新任委員も就任から約半年が過ぎ、地域の実情や職務の内容について理解がかなり進んだ頃だと思えますが、是非、それぞれの民児協で新任委員を育て、二期、三期、いやもっと長い間活躍の出来る人材を養成していただきたいと思います。

なお、開会前に放映されました民生委員児童委員活動の啓蒙を目指したラジオ・テレビの広報番組にご出演いただきました西原茂子常任理事、番場英子常任理事両名に改めて感謝申し上げます。有難うございました。

それでは、皆さまお一人お一人の今後の御活躍と御健勝を祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

人の仲間と共に、支援を必要としている人々に手を差し伸べ、要支援者が孤立状態から脱却し、周囲に相談できるようになるよう地道な活動を進めるためのリーダーシップを発揮していただきたいと思います。

一斉改選により、新しく委嘱された新任委員も就任から約半年が過ぎ、地域の実情や職務の内容について理解がかなり進んだ頃だと思えますが、是非、それぞれの民児協で新任委員を育て、二期、三期、いやもっと長い間活躍の出来る人材を養成していただきたいと思います。

なお、開会前に放映されました民生委員児童委員活動の啓蒙を目指したラジオ・テレビの広報番組にご出演いただきました西原茂子常任理事、番場英子常任理事両名に改めて感謝申し上げます。有難うございました。

それでは、皆さまお一人お一人の今後の御活躍と御健勝を祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

発煙発火のおそれがあります

東芝エアコンをご愛用のお客様へ
再度のお詫びと重要なお願い

**引き続きこのエアコンを
使っています**

エアコン室内ファンを回転させるモーターのリード線接続部から、発煙発火する可能性があります。無償にて点検修理をさせていただきます。

【対象製品】東芝エアコン大清快 **LDR**シリーズ (1998年9月～2000年6月製造)

東芝エアコン大清快 **YDR**シリーズ (1999年9月～2001年3月製造)

LDR、**YDR**シリーズ以外 (1999年11月～2002年1月製造)

●ハウジングエアコン●石油エアコン●ガスエアコン●業務用エアコン

詳細につきましては、
右記の窓口まで
ご連絡ください。

【ご連絡窓口】東芝キャリア株式会社 安全サービス推進室

〒416-8521 静岡県富士市藤原336番地

フリーダイヤル
(通話料無料)

TEL:0120-444-899 **FAX:0120-445-175**

受付時間
平日9:00～18:00
(土・日・祝日を除く)

本件につきましては、弊社ホームページでもお知らせしています。http://www.toshiba-carrier.co.jp/

ご迷惑をおかけいたしまして誠に申し訳ございません。謹んで深くお詫び申し上げます。
ご連絡いただくお客様の個人情報は本件の点検修理のためにのみ利用し管理します。なお、これらの業務に携わる協力会社にはお客様の個人情報を開示することがありますが弊社と同等の管理を行なわれます。

※このお知らせは、2004年8月20日に新聞や弊社ホームページ等によりお知らせした内容と同じものです。

熱海市第2地区民協 災害時一人も見逃さない運動プロジェクトチーム

熱海市第2地区民生委員児童委員協議会



私たち第2地区
(30名)では、「災
害時一人も見逃さ
ない運動」が全国

的に展開される平成18年以前より、東海地震、神奈川県西部地震が近い将来予想される中で、防災への関心が高く、その前年、地区会で東京本所防災館に視察研修を実施、その後も防災に関する研修や関係者との懇談会を開催、更に平成18年度より、第2次の運動目標の一つでもある、災害時要援護者台帳の作成及び整備を、市町行政と協力して、いち早く実施して参りました。

また、具体的な事項や研修等の企画、立案に向けて、全体会より20名で組織するプロジェクトチームを立ち上げ、そこで具体策を協議することに方針を変え、平成21年度から5カ年間で15回の会合を重ね、その結果昨年11月に80ページの報告書にまとめました。

主な内容は、同運動の概要、プロジェクトの年度別研修項目、要援護者の防災会別登録数、

主な内容は、同運動の概要、プロジェクトの年度別研修項

防災DVDを活用して防災研修会

常日頃からの避難訓練実施が重要
第2地区民児協が総会後の全体会で

第2地区民児協が総会後の全体会で

熊谷委員は第2地区民生委員
児童委員協議会（沼沼教福
会長、倉員31人は）19日、福
祉センター6階視聴覚室で
平成24年度総会を開いた。
引き続き開いた全体会では、
防災対策について研修が行
われ、災害に対する心構え
を改めて確認した。

総会では、報告、決
算・監査報告、24年度事業
画・予算などを審議し、原案
通り承認した。特に21年度
から取り組み始めた「災

當時、人も物もない動土は24時間も緊急事態の動土として継続する。議員自らの安全確保の点検・図ることを前提に、災害要緊要請者の支援活動に推進し、地域の

関係機関、団体と広く連携、地域住民との助け合い、支え合いのネットワークを、地域力、福祉力をめぐる、金体として、熱帯中自主

防災・防衛活動の存続を、長田博典議員の呼びかけを、招いて、諸語を海軍、防衛V.D「道」から津波に、く連環し、大地震が来、あわてはなれた。その見聞

質疑応答がなされた。その見聞

土砂崩、建物倒壊、火災の発生が予想され、津波は東海地震で30分後、神奈川県西部地震では2〜5分後に襲来すると想定されている。

初めに挨拶を兼ねて話し

ンケートでは、自分の家族の決めた避難場所が5分以内で51%、10分以内が34%、合わせて10分以上は85%が逃げることを出来たと回答が寄せられていたという。避難訓練を置ければと早速

伊豆毎日新

平成24年〔2012〕4月20日（金曜日）

災害時の対応や万が一の備えなどを話す芹沢会長(右)と田中防災監

[illegible]

熱海市や静岡県の災害史、自主防災組織と役割、民生委員児童委員による災害時支援活動の指針などの資料をまとめたものです。

特に、当地区会で毎年総合防災訓練実施毎に行っているアンケート集計結果等は、関係者か

災害時一人も見逃すな

第2地区
民児委員協 冊子作り意見交換

熱海市第2地区民生委員児童委員協議会（菅沼会長）は、「災害時一人も見逃さない運動」プロジェクトチームの5年間の活動や研修資料をまとめて冊子を作製。27日に市総合福祉センターで開いた防災関係者との懇談会で、冊子を基に活動経過を報告し、意見交換を行った。

プロジェクトチームは2009年度に結成。本年度まで15回会合を重ね、災害に対する知識を身に付けたほか、災害時要援護者の支援活動などを検討してきた。12月1日の民生・児童委員の一



冊子を使ってプロジェクトチームの活動経過を説明する菅沼さん＝市総合福祉センター

斉改選に伴い、菅沼会長ら役員の一部が退任することから、「二つの区切り」として報告書をまとめた。（菅沼会長）

冊子はA4判80ページ。同運動の概要やプロジェクトチームの年度別研修内報告会には、同地区の

ら参考になるとのことで好評でした。

災害については、地震や津波ばかりが中心ですが、台風等の風水害、竜巻、突風、噴火等による土石流、山、がけ崩れ、液状化、火災等いろいろあり、本来それらの対応も考えていかね

民生・児童委員、自主防災会や地域安全コミュニティ会議の関係者、市担当職員ら約40人が集まった。菅沼会長は活動の経過を交え「防災だけでなく、地域福祉の問題も合わせて地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたい」などあいさつ。冊子を基に活動の経過を説明した。水口町自主防災会の活動事例も報告した。

続く懇談会では「医療機関の情報も冊子に盛り込んだらどうか」「自主防災会の役員を対象にしたリーダー研修会を実施したらどうか」という提案や、「災害時要援護者台帳を基にした災害福祉マップ作りは、民生委員だけでなく自主防災会と一緒に取り組む必要がある」といった声が上がった。

H25.11.27 プロジェクト活動報告会についての記事（25.11.29熱海新聞）

平成25年度 総合防災訓練アンケート

所属の自主防災会名（ ） 委員名（ ）

項 目	回 答	備 考
① 9月1日の防災訓練に参加しましたか (記号に○印を)	イ 参加した ロ 不参加	町内会が不参加 不参加の者は自分の都合 ⑤以降へ
② 訓練会場はどこでしたか	イ 第一小学校 ロ 町内会独自の訓練 ハ 津波訓練も兼ねる ニ その他(具体的に)	
③ 昨年12月から今回迄に町内単位又は数カ所に分かれて訓練を実施されましたか	イ 行なった (a) 町内単位 (b) 数カ所に分かれて()カ所 ロ 行なわない	
④ 市から防災会長宛に配布の要援護者台帳を活用されておりますか	イ いる (具体的に) ロ 検討中 ハ いらない	
⑤ 第一小学校以外の避難場所を町内会として決めておりますか	イ 決めている(名称) ロ 検討中 ハ いらない	
⑥ 防災組織の中に民生委員としての役割や役職を決めておりますか	イ ある(具体的に) ロ ない	
⑦ 防災関係全般にわたりご意見、ご要望がありましたら自由にご記入下さい	・町内会 ・第二地区会、市民児協 ・行政等(福祉事務所、危機管理室)	

・ご協力ありがとうございました。
・アンケートは9月4日迄に第二地区会長宛郵送下さい

ばなりません。

当会では、平成25年1月にユニフォームを作成し、防災訓練等には、ベストを着用して参加しております。

5カ年の報告等(冊子)完成後、熱海市総合福祉センターを会場に懇談会を開催し、市の防災、福祉関係職員等を含め約50名の出席を得て、活発な意見交換もあり、有意義な懇談会でした。

昨年12月一斉改選に伴い、会長以下主な役員の半数近くが退任するにあたり、この運動を今後継続し地元防災会との連携

も深めて頂く意味で、今回の懇談会は初めて地元にある33名の防災会長の皆様にも出席を依頼し、当日は地区会長が自主防災会長をしていただいた当時の事例報告も併せて行いました。

今後は、民児協としても、地元地域との連携をより深め、防災面だけでなく地域福祉の見守り活動も含め、安全安心まちづくりのために、少しでもお役に立つ様頑張っております。

この件に関するお問い合わせ先

熱海市民生委員児童委員協議会
TEL 0557-86-6324

ひろば

幼児と高齢者の見守りを考える



森町
民生委員児童委員協議会

大高 栄次

昨今、児童虐待や高齢者の孤独死の話題が多く取り上げられるようになりました。

そこで、我々、民生委員・児童委員はどのように関われば良いか考えてみました。

児童虐待などの防止については、日ごろから、担当地区の自治会長と連絡を取り合うこと、また、幼稚園や小中学校等と綿密に連絡を取り合い、情報を収集することが大切であると思います。

そして、収集した情報の中で、ケースワークが必要な案件について、自分自身で解決を図ろうと思わず、正しい情報を各関係機関に伝え、相談し、対応を図ることが、適切であると思います。

高齢者については、身体的機能も衰えているものの、自分自身の知識や自負の心が強いところがあります。それにより、判断が遅れ大きな交通事故等に会うことがあります。

また、高齢者の孤独死等の悲報をテレビ等で聞く場面もあり、大変残念に思うところでもあります。

高齢者の孤独死を未然に防ぐためには、「向こう三軒両隣」ではありませんが、地域を上げての見守りが必要と感じております。

今後とも、関係機関や地域の方々との連携を更に深め、より良い地域づくりに努めて参りたいと思います。

新しい出会いに心を込めて



掛川市第7地区
民生委員児童委員協議会

加藤 茂都子

昨年12月に掛川市第7地区民児協（合併前の旧大須賀町）の会長という役目をいただき、早や7か月以上が過ぎようとしております。新任の委員が大半を占めている特徴ある地区ですが、新任とはいえ、各地区から信頼を受け選出された経験豊富な皆様方です。専門的なことはじっくり研修を積み、更に地域の方々に信頼されるよう、ともに日々励んでおります。

先ず、委員同士のコミュニケーションが大切と考え、懇親会や視察研修、レクリエーション講習などを定例会と同時に取り入れ、計画的に進めております。おかげで和やかな会合が開催できており、今後、情報交換をしながら課題解決に取り組めるのではないかと思います。

更に私たちが委員活動に意欲的に取り組める大きな理由が、「ふくしあ」という役所の組織で、福祉関係職員が支所の一角で連携して相談ごとに対応してくださいます。福祉の課題は一朝一夕に解決しませんが、「ふくしあ」の職員と共に、地域の皆様の一助になればと願い、今後も取り組んでまいります。

「個人情報開示広報誌の発行」で活動環境の改善を目指して



藤枝市
民生委員児童委員協議会

中村 博

藤枝市民児協では、少子高齢化が進行する中で、民児委員の支援、見守り活動等の充実、強化を図るため、「個人情報開示」を求める意見が地区会長会等で出されました。このため平成23年にこの問題を検討するため「民児委員の活動環境をよくする検討委員会」を設置して、具体的な要望事項を数回にわたり協議し、地区会長会等の了承を得て、市町へ「個人情報開示」の要望書を提出しました。市は「個人情報保護審査会」の答申を受けて「告示」し、平成24年10月から次の項目を開示してくれることになりました。

1. 生活保護世帯、2. 要援護3以上の方、3. 身体及び精神保健の1級、2級療育手帳Aの知的障害者 のいずれも住所、氏名、生年月日等であります。

希望する委員は、個人で申請し「取扱要綱」を遵守する中であくまで自分のバックデーターとして活用することとしております。

一方、25年の一斉改選を節目として、民児委員の活動を市民の皆様に一層理解を深めてもらうため、24年に「広報委員会」を設置して、広報誌「かけはし」を発行することといたしました。今日までに、4回市民の皆様配布しております。

これからも、こうした事業を継続して地域に根ざした活動を展開できるよう努めてまいります。

ひろば

民生委員・児童委員の負担軽減について



島田市
民生委員児童委員協議会

花澤 正雄

昨年12月に民生委員児童委員の一斉改選が行われ、早くも半年が過ぎました。私たち島田市民児協においては、約三分の一が新委員になり、最初の一、二ヶ月は右も左も分からなかった新委員が、今では、先輩委員の指導を仰ぎ、自分自身でも研修を重ねながら、日々、活躍しています。

民生委員児童委員の業務は、高齢社会に呼応するよう年々多様化、複雑化しております。このような状況下で委員の基本的活動である訪問、声かけ、見守り等の活動回数や活動日数は右肩上がりの状況になっています。

私たち島田市民児協の昨年度の活動日数は157・9日と全国や静岡県平均と比較し、概ね20日程上回っております。

こうした状況を踏まえ、市では委員活動の負担軽減を図る取組を始めました。まず市及び関係機関から民生委員児童委員へ依頼している業務の実態調査、さらに委員自身へのアンケート調査を実施し、これらの調査結果から市として委員への負担軽減がどこまで出来るのかを検討していただいているところです。

私たち民生委員児童委員の活動目的は、市民が安心して生活することが出来るように市や関係機関と連携、協力し活動することであると思います。

委員が本来の業務に積極的に取り組むためにも市からの負担軽減に対する指針や方向付けを期待しているところがあります。さらに民生委員児童委員の「なり手不足」解消のためにも、これら業務の負担軽減が必要であると思います。

豪雪に思う



小山町
民生委員児童委員協議会

渡邊 武夫

今年二月十四日から十五日にかけての降雪は、今までに経験した事のない一メートルを超す記録的な大雪となり、国道・県道・町道が寸断されました。須走地区の千六百六十九世帯が孤立状態となり、災害派遣要請により自衛隊が除雪のために出動してくれました。

この時、民生委員児童委員は、町からの要請により一人暮らし高齢者の安否確認に奔走しました。積雪で玄関の戸が開けられず、窓から出て安否確認に向く委員、家から出ることができない委員は、電話連絡をし、どうしても連絡の取れない人については、翌日訪問をし、兎に角、全員の安否確認をとることができました。この時、積雪で家から出られない人で、透析のため病院に行けなく困っている人を、地域ぐるみの連携により救急車で搬送するなど、素早い対応により一命を救うことができました。

災害は予期しない状態で突如起こります。そのために、民生委員児童委員として日頃から、担当地区の一人暮らしの高齢者等要援護者の情報把握に努め、災害時には抜きかりなく対応できればと思います。そして、行政や自主防災会等と情報を共有し、地域の人達とも協力し、安全で安心のできる地域づくりに一翼を担ってまいりたいと思います。

地域の暖かい見守り



長泉町
民生委員児童委員協議会

神山 節子

主任児童委員の役割の中に、児童福祉関係機関と連携を密にし、区域を担当する児童委員との連携調整を行い児童委員の活動に対する援助と協力を行うことがあります。

長泉町では毎年一回、六月に「民生委員・児童委員と学校との情報交換」を三つの小学校と二つの中学校で行っています。生活保護世帯も増えていきますし、家庭のちょっとした子育ての悩みから悲しい事故、事件が起こらないとも限りません。情報交換会では、学校側から地域で気にかけてほしい家庭と児童の情報聞き、「そつと見守る」「声かけをする」「相談」を三つの柱として困っている問題を解決できる機関とのパイプ役となり、児童委員さんの協力のもと見守りをしています。また地域ぐるみで、登下校・放課後の様子や長期間の学校休暇中は特に事故のないよう気を配って頂いています。地域の暖かい見守りに感謝し、これからも引き続き見守り活動への理解と協力に大きな声をあげていきたいと思っています。

平成26年度 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会発表要旨

「民生委員児童委員一人ひとりの活動への意欲を支えるために」 委員同士の支えあいや委員をサポートする民児協運営」

藤枝市民生委員児童委員協議会 副会長 南雲 初義



*情報交流は活動の立ち位置を明確にする

今回の関ブロは1都10県8政令都市から265人の参加者でした。基調報告、記念講演、情報交流会、分科会を通して多くの情報を得ました。例えば、定例会の工夫では、毎回「ひろば」

読み合わせをする、「花咲く郷土」を合唱する、年2回はフリートーキングにする等々。自分たちの定例会を見つめ直す上で有益な情報でした。

*藤枝市民児協の事例

私の事例発表は、市民児協の広報誌紙「かけはし」の発行と単位民児協で毎月発行している会報についてでした。

市民児協広報誌紙発行の目的は、民生・児童委員、主任児童委員の活動(役割)を広く市民や関係機関に知ってもらう。そのことで地域での活動環境が整えられる。また適切な支援につながる。内容は①市民に向けてのPR(全世帯へ配布)、一人暮らし高齢者に役立つチラシ(民生委

員1人20枚)、②一斉改選に向けての自治会長・町内会長・関係機関向け、③活動事例掲載等の委員向けの3パターン。発行は24年度2号、25年度2号でした。文章、レイアウト、校正はすべて広報委員会自前でやりました。今年度新たな委員会を立ち上げました。私の所属する高洲地区では4年前からA4版表裏の会報を毎月出しています。

新任編集委員の紹介

編集委員長

島村 榮(伊豆市)

編集委員

萩原 浩(焼津市)

松下 悦郎(磐田市)

三宅 幸三(富士市)

杉本 正(牧之原市)

井川あい子(湖西市)

編集委員会委員に就任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

改選、委嘱状の交付、新役員の選出、総会等の主な事業が一段落した後の編集委員会では、素晴らしい出会いがありました。審議の合間に交わす地区の話題から委員の心が繋がりを、発想を豊かにし、諸先輩の実績を汚さぬよう緊張と充実で号を重ねていく事を確認しました。

視点を民生委員・児童委員が誇りを持ち、安心して力を発揮できることを目指し、民生委員・児童委員活動に役立つ情報の提供、社会的認知度の向上に資する情報の提供、活動の紹介と福祉制度・環境等の周知に置きました。今号にも市町民児協から活動の紹介を含む貴重な投稿をいただきました。

非効率、無駄の声にも良識で説き、受け継いだ「おもいやり」「仲間での活動」を大切にしていることが窺え、また複雑で困難な事例の克服、継続で身に着けた技が活み、勇気づけられました。お役に立てていただければ幸いです。

(島)